富士宮市消防団 新入団員らが教育訓練に臨む

消防業務遂行へ知識習得

敬礼の仕方を学ぶ新入団員

富士宮市消防団による新入団員教育訓練が22日、富士宮市役所で開かれた。本年度は33人が入団。当日は昨年、一昨年の入団者も含め44人が受講し、消防団員に必要な知識を学んだ。

火災などあらゆる災害から市民の生命、財産を守る任務を遂行するため、団員は入団して必ず1度は教育訓練を受ける。

同日は団本部員、分団長の紹介を受けた後、新入団員を代表して辻村岳瑠さん（第23分団）が「郷土愛護の精神の下、良心に従って忠実に消防業務を遂行することを誓います」と宣誓した。

学科では消防団員の役割や安全管理、身分、処遇、福祉などについて学んだ。引き続いて規律訓練では新入団員が3グループに分かれ、団本部員の教育訓練指導員らから起立の姿勢、敬礼の仕方、「右向け右」「集合」など15種類の訓練できびきびした動きを真剣な表情で学んでいた。

安心の医療環境づくり目指し

富士宮市地域医療を守る市民の会が総会 事業計画決める

あいさつする井野会長

富士宮市地域医療を守る市民の会（井野倉治会長）の2018年度総会が21日、市総合福祉会館で開かれた。「安心できる富士宮市の医療環境づくり」を重点とする新年度の事業計画と予算（案）、水上浩子・柏木清江両幹事の新任を含む役員改選などについて審議・決定し、今後一層の活動に意識を一つにしました。

あいさつした井野会長は、会の成り立ちについて話しながら、「新年度も多くの出前講座に取り組み、『ありがとうリング』の輪を広げながら、市の医療環境の現状を一人でも多くの市民に伝えていきたい。今後も皆さんの協力をお願いしたい」などと述べた。

来賓の芦澤英治副市長は「皆さんの活動が地域医療を支えている。これからも、市民目線で市の地域医療への理解と協力をお願いしたい」などと述べた。

富士宮市立病院の佐藤洋院長も「医療は病院の医療関係者のみではなく、地域の皆さんとの連携で行っていくことが大切。今後も皆さんと連携しながら少しずつ医師数を増やし、健康で住みやすい地域をつくっていけるよう努力したい」と話した。

新年度の事業計画では、昨年度に引き続き、寄り合い処出前講座の充実を図り、地域医療環境づくりを促進するため、精進川下寄り合い処（5月25日・大倉公会堂）や二の宮寄り合い処（6月1日・二の宮公会堂）、巡沢寄り合い処（同22日・尾崎公民館）、やまびこ寄り合い処（7月28日・小泉5区区民館）などでの出前講座を予定。参加者に▽コンビニ受診を控える▽救急車をタクシー代わりに使用しない▽かかりつけ医をもつ▽医師や医療関係者へ感謝の気持ちを伝える―の〝4つのお願い〟を求め、「ありがとうリング」による医療関係者へ感謝の気持ちを伝える活動を展開していく。

また、医療関係者や行政機関などとの連携を促進し、意見交換会や学習会等を開催するほか、県内で行われる地域医療推進の各種事業に参画し、県内各団体と交流を図るなどして活動の輪を広げていくとした。

総会後、基調講演が行われ、浜松医科大学医学部医学科地域医療学講座特務教授の山岡泰治さんが「健康づくりと健康なまちづくり」と題して講話した。

意見交換会では「西町レトロ館を中心としたにぎわい創出について」をテーマに懇談。住民は準備した資料を基に「西町は貢船小の開校と西富士宮駅の開業で発展した。湧き水や製紙会社、食品店などがあり、早朝から多くの人でにぎわっていた」などと西町の歴史を紹介した。

同会議所では、同館を地元作家の作品展会場や囲碁・将棋の会所として提供するなど、子供からお年寄りまでが気軽に足を運べるような環境づくりを考えており、高校生たちは住民の語る西町の変遷などに理解を深めながら参考としていた。

引き続き、高校生が市民・観光客に勧める独自のルート「ぷらっと歩こう3776㍍」の場所を実際に歩きながら距離などを確認。同館に戻ってからは主催事業「第2回宮フォトコンテスト、富士宮PR動画コンテスト」、8月4日に市民文化会館で開かれる日本高校会議所第1回総会の詳細などを話し合った。

富士宮高校会議所が定例会

住民とまちのにぎわい考え

西町レトロ館の活用方法など

地域住民による西町の歴史紹介に耳を傾ける高校生

富士宮高校会議所（遠藤祐太会頭）の2018年度第1回定例会が21日、富士宮市西町の西町レトロ館で開かれた。高校生が地域住民と同館の活用方法を考えたほか、高校生の視点で商店街活性化や地域振興について話し合った。

満開のレンゲ畑など満喫

富士山れんげまつり

レンゲの花畑で記念撮影する来場者

第4回「富士山れんげまつり」（服部愛一郎実行委員長）が22日、富士市の富士東部土地改良区内須津地域の田んぼで開かれた。満開のレンゲ畑内に設置したステージ上でのコンサートや地域物産品販売、動物との触れ合いコーナーなどで大勢の人たちが楽しんだ。

訪れた人たちはヤギに餌をやったり、パオ（モンゴルの移動式住居）の中でレンゲを摘んでしおりを作る「押し花ワークショップ」、スタンプラリー、抽選会を楽しんだりしたほか、歴史を感じさせるクラシックカーの展示やピロシキ、焼きそば、フランクフルト、サンドイッチ、ケバブ、かき氷など「ご当地グルメ&スイーツ」コーナー、キュウリやジャガイモ、タマネギ等の朝採れ野菜、米の青空市場などでにぎわった。

来場者は、ピンクのじゅうたんのように広がるレンゲ畑で花摘みや記念撮影を楽しんだ。

自動車図書館 ひばり号

▽24日＝北山保育園（9時50分～10時30分）大富士保育園（10時50分～11時30分）内房小学校（10時～10時30分）東小学校（14時30分～16時）柚野小学校（12時40分～13時20分）芝富小学校（14時30分～15時45分）

岳南朝日

岳南朝日新聞社
〒418-0033
富士宮市野中東町46-1
代　表　(0544)28-0200
ＦＡＸ　(0544)28-0218
編　集　(0544)28-0234
営　業　(0544)28-0220
月977円　1部60円

大型・中型・けん引・大特・普通・大型二輪・普通二輪
昭和自動車学校
富士市比奈 吉原工業高校横
☎(〇五四五)三八-〇一一〇
http://www.showa-ds.jp/

購読申し込み先
●富士宮（0544）
鈴木新聞店 ☎(26)3285
中野新聞舗 ☎(23)3333
勝亦新聞店 ☎(26)1100
SHC南部販売 ☎(26)2543
中西新聞店 ☎(28)1133
●吉原（0545）
植草新聞店 ☎(52)0370
鈴木新聞店 ☎(52)5503
星野新聞堂 ☎(52)0376
●富士（0545）
雨森新聞舗 ☎(61)5049
田畑新聞店 ☎(61)0011
星野新聞堂 ☎(61)0275
●鷹岡（0545）
安倍新聞店 ☎(71)3327
SHC鷹岡販売 ☎(71)8156
望月新聞店 ☎(71)2647
●富士川（0545）
石井新聞店 ☎(81)1333
佐野新聞店 ☎(85)2093